

# 第35回 南稜祭

## 「Infinity～僕らの絆は無限大～」

平成29年7月9日(日) 一般公開(10:00～16:00)

# 南稜通信

### 第2号

平成29年  
7月発行  
長野南高校

問い合わせ先  
教頭 田村 啓一  
庶務 西谷 充代  
TEL026-284-8850  
(学校代表)  
TEL026-284-8851  
(教務室)



第35回南稜祭実行委員会委員長の北澤康平です。

私は「全校生徒の絆を深め、歴史に残る南稜祭」を目標に活動しています。

南稜祭は、主に文化部の発表の場として行っています。普段見ることのできない文化部の発表を見られて、発表する方も、見る方も楽しめます。

全校生徒と先生、地域の方々との絆を深めようとの思いで考えました。来年入学を考えている中学生のみなさん、私たちとも絆を深めましょう!!

【昨年の文化祭の様子】



## 県大会結果報告

男子ハンドボール

準優勝(北信越出場)

女子ハンドボール

準優勝(北信越出場)

女子バスケットボール ベスト8

陸上・硬式テニス

・弓道・軟式テニス 大会出場



【壮行会】



### 体験入学のお知らせ

平成29年7月31日(月)



受付	8:40 ~ 9:00
全体会	9:05 ~ 10:00
体験授業	10:20 ~ 11:10
クラブ見学・施設見学	11:15 ~ 11:50

アンケート記入後、終了となります。

\* 第2回公開授業を10月17日(火)に予定しています。

## 今年度の進路希望について

進路指導係 山崎 一男

本校では4月に進路希望調査を行いました。次の表は、3年生の進路希望について比較したものです。

年度	国公立大	私立大	公立短大	私立短大	専門学校	就職	公務員	未定他
27	18	42	16	18	76	11	12	3
28	24	46	14	14	63	8	10	2
29	42	46	1	11	62	9	13	4

これを見て、今年度の傾向として言えることは次のことです。

- ① 国公立大、私大を含め4年制大学志望者が増え、短大希望者の減少傾向がみられます。27年度調査と比較すると、減少は顕著です。それ以外に目立った変化はありません。この表からは分かりませんが、このうち3割が経済、経営、商学部への進学を希望しています。
- ② 専門学校の進学希望者は昨年とほぼ同数ですが、希望する分野に特徴があります。医療看護系、理美容への希望する生徒が多く、全体の4割を占めます。このことも表からは分からないことです。
- ③ 公務員は、今年も例年並みの希望者数です。当然、狭い門であることに変わりはありません。
- ④ 就職希望者は、ここ2年の希望者と同数です。
- ⑤ 以上、進路希望調査の概略を申し上げましたが、付け加えることがあります。昨年度から私大の公立大学への移行ということが、話題になっています。それは公立大学となる1大学への入学の難化という現象にとどまらず、他の私大も難化するという影響を生みました。来年度からは、長野大学だけでなく、諏訪東京理科大も公立への移行が決まっており、併せて、長野県立大学の開学も行われます。本校でも対策を講じているところで、生徒が基礎学力を身につけることが重要であるのは言うまでもないことです。



### 先輩からのメッセージ①「勉強することを嫌がらないで」

国語 滝沢 芽衣

三週間教育実習で長野南高校にお世話になりました、滝沢芽依です。教育実習では忙しくも楽しい日々を過ごさせていただき、とても良い経験になりました。

突然ですが、知識というものはとても大切なものです。どんな分野であれ、知識があると無いとでは楽しみ方がまるで違ってきてしまいます。それは勉強でもスポーツでも、趣味でさえも同じことだと思います。私は「伝承」が好きで、伝承が学べる大学に進学しました。現在は大学で伝承や風習の研究をしています。

生徒の皆さんには何か一つでも良い、自分が「この分野について知りたい」と思った分野についてはしっかりと勉強して欲しいと思っています。まだ分野が決めきれていない人は、とりあえず一通り知識を得てみてください。知識を得ていくうちに自分が極めたい分野が自ずと見つかると思います。勉強することを嫌がらないで、まずはぶつかってみてください。そうすればきっと楽しい将来が待っていると思います！ 三週間ありがとうございました。

### 先輩からのメッセージ②「将来を決める大切な時間」

理科 若林 諄

5月22日から3週間、母校である長野南高校で教育実習生としてお世話になりました。不安や期待を胸に臨んだ実習は長いようで短い日々でした。授業や教材研究など苦勞した時も多くありましたが、それ以上に大きなものを得ることができました。生徒の皆さん、先生方と過ごした3週間は充実した時間であり、また大きな自信となりました。

私から学生の皆さんへのメッセージは自分の将来のことでたくさん悩んでほしいということです。人生は日々勉強、と言いますが学生ほど学ぶ時間が多い時期はありません。そんな日々を過ごす皆さんはたくさんの可能性に満ち溢れています。その可能性の中で大いに悩んでください。自分が本当になりたい目標を見つけてください。簡単なことではないと思いますが、今しかない学生生活を見つめ直すと、意外と近くにあったりするものです。そして、目標を実現するために多くの知識を身につけてください。

